小田南公園整備イメージ図

※今後最終調整を行う中で、一部内容が変更となることがございます。

②既存の緑を活かした植栽計画

ア．　小田南公園広場
　現在の小田南公園の緑を活かし、西側にイチョウ（残置）、南側にウメ（移植）、広場を囲うようにサクラを配置します。

イ．　イチョウ並木（北側道路沿い）
　北側道路沿いの植樹帯で、既存のイチョウを活かしながら、街路樹と一体でイチョウ並木の通り抜けを再現します。

ウ．　その他植栽
　公園東側敷地境界沿いは、既存の樹木を活かしつつ、園路沿いについては、ハナミズキ、サルスベリ等、四季を感じられるよう多種多様な樹木の植栽を行います。

③防災機能の向上

地域の防災拠点として、以下の機能を整備します。

（仮称）タイガース野球場
- 津波等一時避難場
  （観客席約3,600席のうち2,600席相当をエリア指定）
- 非常用自家発電設備
- 防火水槽

（仮称）小田南公園野球場
- 雨水貯留機能
- 防災用資機材の備蓄倉庫

北側道路沿い園路
- 応急給水栓
- マンホールトイレ

①憩いの空間の創出

　芝生広場内では、コンクリートベンチを設けるなど、公園利用者の方々の憩いの場として整備を行います。
また、現在の小田南公園の緑を活かし、西側にイチョウ（残置）、南側にウメ（移植）、広場を囲うようにサクラを配置します。
　さらに園路については、公園全体を周遊できるよう整備し、園路に沿ってベンチを設置することで、公園内の各所で憩える空間を創出します。

■タイガース練習場

北側園路から、プロ野球選手の練習風景を見ることができ、地域住民や公園利用者の皆様にプロスポーツを身近に感じていただけます。

④脱炭素への取組

「阪神大物地域ゼロカーボンベースボールパーク整備計画」として、（仮称）タイガース野球場や第2工区の室内練習場等への太陽光パネルの設置、第2工区での蓄電池の設置を行い、小田南公園全体で電力を融通します。
さらに不足電力については、市のクリーンセンターでの廃棄物発電によるクリーン電力を調達するなど、脱炭素に取り組んでまいります。

小田南公園野球場の入口

注：線路の北側（図の下側)は左(東）向き、南側は右（西）向き、それぞれ一方通行

・45台の最大駐車場は、公園の北東の端（下の図では公園内左下）です。この東駐車場を利用しましょう！
・D点で高架を北から南にくぐります。西へ少しバックしてすぐ車の出入り口が見つかります。
・Ｄ点はA点から3つ目の高架下をくぐれる場所、左斜めから道が合流する点です。左に浦風小学校が見えます。

南

北

D高架下通行可

Aから300m

C高架下通行可

B高架下通行可

A信号の交差点

大まかな経路

上記A交差点

ナビは「浦風(うらかぜ)小学校」で検索（学校南端or道路に移動設定する）その場所で高架をくぐり右折、30m西に入口

東駐車場

「東本町」交差点

（43号線）尼崎市東本町3丁目

阪神高速「尼崎西」を降りて東へ約2.5Km